

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2023.Jun Vol.39

増加する外国人留学生の受入～出口支援に関して

Theme1

大学職員様向けセミナー開催報告
～就職部署に配属になった人が知っておきたい～
24卒就職支援の基礎知識

Theme2

増加する外国人留学生の受入れ～出口支援に関して

2008年に出された留学生30万人計画を2018年に達成し、日本政府は新たに2033年までに、外国人留学生の受入れを40万人にするという目標を掲げました。外国人留学生の受入れや就職活動の支援については、いくつかの大学からお悩みとして伺います。

昨年9月に当社のグループ会社となった株式会社キャンパスサポートでは、大学が抱える受入れ業務の負担を軽減するクラウドサービスを展開しています。今回は、株式会社キャンパスサポートの留学生ライフサポート事業部より、外国人留学生の受入れの現状とクラウドサービス導入による効果について話を伺いました。

<会社紹介>

株式会社キャンパスサポート（本社：東京都新宿区笹原町43 新神楽坂ビル7階）

設立：2003年3月1日 事業内容：人材サービス業

大学生協事業連合との業務受託契約に基づき、約20年学内外合同企業説明会や学内広告事業を通して学生と企業の出会いを創出。

留学生へのキャリア支援を拡大すべく新事業部を開設。

取引先：大手メーカー、金融機関、商社、サービス、教育機関など

<https://campussupport.co.jp/>

■外国人留学生の受入れと就職に関して

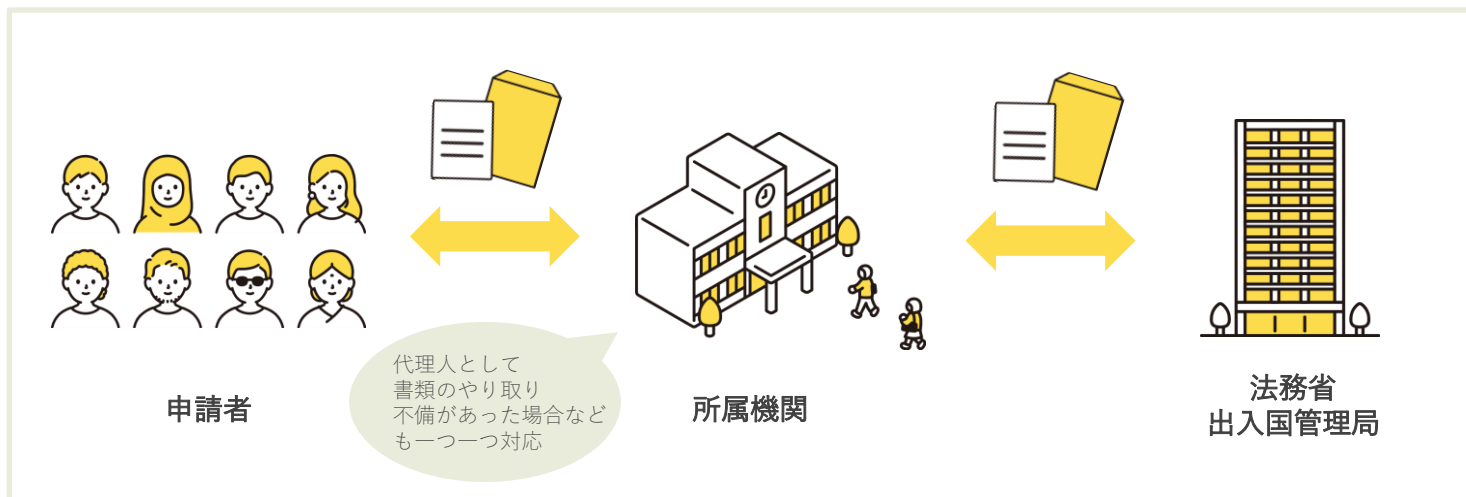
2023年3月17日に行われた政府の教育未来創造会議で、2033年までに外国人留学生を40万人受け入れることを政府が掲げました。外国人留学生の数は、新型コロナウイルスの影響で一時減少していますが、今後増加していくことが見込まれます。

また、少子高齢化や労働力人口の減少の影響から、2030年には人手が644万人不足するといわれており、81万人の外国人労働者がさらに必要になっていきます(パーソル総合研究所『労働市場の未来推計2030』より)。外国人留学生の出口（就職・雇用）は、これからの日本社会において必要不可欠なこととなっていくといえます。

■実際に大学で起こっている受入れ業務の苦労

では、外国人留学生の受け入れは、どのような手順で行われるのでしょうか。

外国人留学生の受入れ（入学）は、多くの大学において「国際課」や「留学生課」といった部署で行われます。そして外国人留学生は、まず【在留資格認定証明書（CoE）】を取得する必要があります。*国費・短期滞在は不要
取得にあたっては、所属機関、今回でいうと大学が代理人となり、書類の確認と法務省出入国管理局への提出を進めます。申請書類は、本人が作成するもの（多くは大学が留学生から情報を回収し代理作成している）、所属機関が作成するもの、パスポートコピー、経費支弁書等、多くの書類の準備・提出が必要となります。



「国際課」「留学生課」は、在留資格認定証明書の取得業務以外にも、入学してくる留学生の日本での生活面のサポート等も担っています。そうした中で、申請者と法務省との間に入る手続きで多くの時間を取られてしまっていることが、大きなお悩みとして挙げられています。また、細かな確認が必要であることから業務が属人的になりがちで、必要な知識等が部署内で共有・蓄積されにくい、ということも問題となっています。



国際課のお悩み

- ・ CoE申請業務が手一杯で、留学生の相談対応ができない。
- ・ Excel作業や複数のツールで資料を管理しており、ヒューマンエラーが管理者、申請者双方多いため、作業や修正に多大な時間を要している。
- ・ 部局毎の属人作業により書類完成度の差が激しい。
- ・ 異動等で知識やスキルが定着せず、教育コストがかかる。

■受入れ業務を支援するのが、株式会社キャンパスサポートが提供するクラウドシステムです。

クラウド導入+作成支援によるソリューション



不備の多い留学生との書類のやり取りについて、クラウドシステムを介することで、業務負担を削減し、属人化を低減させます。

国際課

外国人留学生の受入れ支援はできていますか？

2008年に出された留学生30万人計画を2018年に達成し、日本政府は新たに2033年までに、外国人留学生の受入を40万人にするという目標を掲げました。

各大学の国際課は、留学生の受入れ増加を課せられていると同時に、受入業務の簡略化（DX化）や体制整備、入学後に付随するサービス等の充実や対応策に頭を悩ませています。

そのような状況に対して、株式会社キャンパスサポートは、外国人留学生の「在留資格認定証明書交付申請書」の業務DX化と作成支援を通して、国際課の負担軽減を行いたいと考えています。国際課が申請手続きの負担を軽減し、相談窓口をはじめとするサポート体制を一層強化することで、留学生や外国人研究者が勉学や研究活動、就職活動により集中できる環境をつくることを支援します。

就職課

外国人留学生の就職活動支援は進んでいますか？

少子高齢化に伴い国内の労働人口が減少していく中、どの業界でも人手不足が叫ばれており、特にエンジニアとして期待値の高い理工系学生の人材獲得競争は近年激しさを増しています。

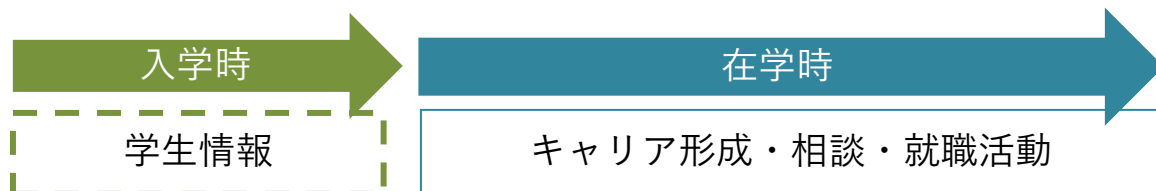
また企業のグローバル化や業態の変化に伴う多様性の確保も重要視されており、日本企業が外国人留学生の採用を強化する動きは、今後ますます活発化していくことが予想されます。

一方で、日本の就職活動に乗り遅れてしまう留学生や、日本のルールに適應できず帰国を選択する留学生も多く発生しています。

こうした状況を踏まえ、私たちは、就職対象学年時（4年時等）の支援だけではなく、受入れ（入学）段階から留学生のキャリア形成を行っていくことが重要だと考えています。

つまり、留学生のサポートは就職課と国際課等の受入部局が一丸となって行う必要があり、株式会社キャンパスサポートはその環境づくりを支援してまいりたいと思います。

具体的には、国際課等が行っている、外国人留学生の「在留資格認定証明書交付申請書」の業務DX化と作成支援を通して、留学生情報を大学内に蓄積し、適切なタイミングで大学のサポートを発信できる環境を整備したいと思っています。



7月20日(木)大学職員様向けセミナー 開催！

今回、ご紹介した外国人留学生の受入れ支援のクラウドシステムや外国人留学生の受入れに関して、より詳しくご紹介する大学職員様向けセミナーを7月20日に開催します。

ぜひ、留学生担当部署の方や外国人留学生の受入れや出口支援にご興味がある方にお知らせください。お申込は右のQRコードよりお願いいたします。複数名でご参加の場合も1名ずつお申込みください。

増加する外国人留学生の受入～出口支援に関して

日時：7月20日(木) 15:00-16:00（最大16:30）

費用：無料

会場：オンライン

<https://form.run/@daigakuseminar-0720>



～就職部署に配属になった人が知っておきたい～24卒就職支援の基礎知識

2023年6月7日(水)13:00～14:00に、大学職員様向けセミナー「～就職部署に配属になった人が知っておきたい～24卒就職支援の基礎知識」を開催しました。今年も多くのご大学様から、部署異動やご担当変更を伺っております。新たに就職課に就かれた方からお聞きするのが「全く違う畑から来たから、就職支援の基本がわからない」ということです。今回は、そういったご異動で就職課に就かれた方や新しくご入職された方を主として、新卒採用の歴史やここ数年間の新卒市場の振り返り、24卒25卒の動きなど就職支援の基本となる情報提供のセミナーを実施いたしましたので、内容を一部をご紹介します。

セミナーアジェンダ

- 1) キャリアセンターで働くとは
- 2) 採用活動のこれまでと今
- 3) 24卒支援スケジュールとトレンド
- 4) 25卒のトレンド
- 5) まとめ

■キャリアセンターで働くとは

キャリアセンターの役割

学内においては、就職相談や就職に関しての情報提供、進路回収や就活サポートの講座などを行い、学外においても広報活動や地域・他大学との連携、企業求人の対応など、多岐にわたる業務があります。求められる領域や職務内容は本当に多いですが、就職決定など嬉しい場面にかかわることも多く、キャリアセンターが花形部署とされる大学も多くあります。

私たちは、キャリアセンターとは、「大学という閉じた世界と企業社会の橋渡し」また「大学の顔」だと思っています。キャリアセンターは学生と社会をつなぐ重要な部署であり、学生がどんな企業に就職し、活躍しているかということは、大学の入試広報や大学経営においても重視されることだからです。

キャリアセンターが目指すもの

貴学のキャリアセンターはどんな目標をもっていますか？キャリアセンターが目指すものは、学校によって異なります。例えば、就職率を目指す大学もあれば、優良400（JPX日経400）（「Japan Exchange Group」の略称で「日本取引所グループ」「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数）への就職率を目指されている大学も多くあります。また、OB/OG在籍企業への就職率も、目標として伺ったことがあります。

いろいろな目標を掲げ、日々業務に取り組まれていることと思いますが、目標は「広報」として利用するための数字であることが多いです。

このように、就職率や就職先を目標とする中で、キャリアセンター自体もただ就職率を上げるだけでなく、どんな企業に就職するのか、一人一人の満足度はどうなのかなど、就職した先の「キャリア」を含めた「就職の中身」についての関心が高まっています。

キャリアについては、2000年に文部科学省が報告した「大学における学生生活の充実方策について」の中で、キャリア教育を教育課程に組み込み、大学におけるキャリア教育を充実させることが提言されました。それに伴い、多くの大学が新たにキャリアセンターを設置したり、「就職課」を「キャリア課」に名称変更したりしました。キャリアセンターは、学生のキャリアを作る部署として大きな役割を担っているのです。

キャリアセンターで働くこと

日本の生産年齢人口(15～64歳)は、2025年段階で約7,170万人になるといわれています。一方、今の大学1～4年生は、約300万人。大学で学んだ学生たちが日本の将来を作っていくと思うと、学生たちのキャリアにかかわる大学のキャリアセンターは本当に大きな役割を担っているといえます。すべての学生にかかわることができるのは大学のキャリアセンターのみであり、民間企業では成しえません。

一方で、株式会社学情が実施した、「キャリアセンター（就職課・キャリア支援課）の利用状況」（2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象）によると、「利用したことがある」という回答は、55.0%でした。キャリアセンターを利用する学生がひとりでも増えるように、私たちもサポートいたします。

セミナーでは、就職部署に配属になった人が知っておきたい、**新卒採用の歴史や24卒のトレンド、これからのキャリアセンターに求められるもの等**をご紹介します。アーカイブ動画の視聴をご希望の場合は、当ページ下にありますメールアドレス（daigaku@jaic-g.com）までご連絡ください。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

